

**編 集  
後 記**

新年おめでとうござい  
ます。私達編集委員一同は  
本年も新しい気持ちで、皆  
様に親しんでいただける学会誌を作  
るよう努力したいつもりです。本  
年もよろしく願い申し上げます。  
表紙の緑は親しみの現われです。

本年は東京でオリンピック大会が  
開かれます。その成功の陰の力とも  
なるべき一部の主要土木工事の概況  
が本文に触れられています。昨年は  
台風が少なく被害も僅少だったのは  
不幸中の幸いでしたが、その反面都

下の水道は 11 月より時間給水とい  
うみじめな状態です。しかし『計画  
どおり工事が進めば、東京の水道は  
95以上の点をあげられる』という佐  
藤氏のご意見どおり、立派な成果が  
あらゆる面に発揮されてほしいもの  
です。

NHKの村野氏による『土木立国  
の道標』は土木屋の痛い所をつかれ  
ているような感じを持たされますが、  
同時に年頭にあたってわれわれ  
に反省の好材料を与えて下さって  
います。東大の星埜先生からはご多忙

中のところ、大へん早く「土のせん  
断強度」についてとりまとめていた  
できました。また齋藤・野沢氏およ  
び小林氏に新旧の清水トンネルにつ  
いて執筆していただきましたが、そ  
の文を通して時の流れの変化を感じ  
られた方々も多いことと存じます。

口絵として、大成建設KKの御厚  
意により東京国立競技場と面河ダム  
の建設工事のカラー写真を入れまし  
たがいかがでしたでしょうか。

【東北大学 阿部・記】

**昭和 38 年度土木学会誌編集委員**

委員長	八十島 義之助				委員兼幹事	松本 成男
委員	石井 文夫 斉藤 俊彦 新谷 洋二 森 重雄	梅田 卓郎 城野 忠雄 原田 信昭 森本 茂雄	遠藤 篤康 千秋 信一 藤井 喬昭 湯浅 昭	大山 忠 土屋 昭 町田 富士夫 渡辺 隆	後藤 績 奈良部 俊雄 三池 亮次	佐藤 尚徳 南部 繁春 森 麟
地方委員	(北海道支部) 菅原 照雄 河野 文弘	(東北支部) 三浦 晃 阿部 泰夫	(中部支部) 酒井 清太郎 増田 重臣	(関西支部) 赤尾 親助 西村 昭	(中四支部) 玉井 敏一	(西部支部) 小坪 清真 長友 文昭

**会員入退会について (昭和 38.11.1~11.30)**

1. 入 会 62 名 (正 10 学 52)
2. 復 活 2 名 (正)
3. 退 会 6 名 (正)

**会 員 現 在 数**

名誉	正員	学生員	賛助	特級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	計	(増)
49	14 455	1 817	30	18	16	44	216	312	27	16 984	(58)

**支 部 所 在 地**

- 北海道支部 札幌市平岸 北海道開発局土木試験所研修係内 (電 札幌 83-4161 内 5)  
 東北支部 仙台市北三番丁 124 建設省東北地方建設局企画室内 (電 仙台 22-4191)  
 中部支部 名古屋市中区南外堀町 6 の 1 名古屋水道局上水道拡張課内 (電 名古屋 94-5511 内 295)  
 関西支部 大阪市天王寺区堀越町 110 天王寺ステーションビル 4 階 (電 大阪 716-7881 内 33 )  
 中国四国支部 広島市国泰寺町 39 広島市建設局土木課内 (電 広島 41-1111)  
 西部支部 福岡市土手町 6 建設省九州地方建設局内 (電 福岡 75-4331)

昭和 39 年 1 月 10 日印刷

昭和 38 年 1 月 15 日発行

土木学会誌 第 49 卷 第 11 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社 技報堂

東京都港区赤坂溜池 5 番地

発行者 羽田 巖

発行者 社団法人 土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200 円 (送料 20 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番